

真鶴町体育協会

きらめく生涯スポーツ
をめざして

昭和31年9月30日に旧真鶴町と旧岩村が合併し新真鶴町が誕生の際、同協会が設立され55年になります。

真鶴半島駄伝大会は昭和32年2月に第1回が開催されてから、今年で54回目



半島駅伝、スタート!!

の伝統ある大会です。平成10年には、第53回かながわ・ゆめ国体が開催され、当町はウェイトリフティンゲの会場となりました。そのために平成7年に町立体育馆が建設され、現在は社会体育施設として多いに利用されています。

商工会は、商工業の総合的改善発達を図るとともに、社会一般の福祉の増進に資することを目的として、昭和35年に商工会法が施行されて設立された「特別認可法人」です。商工会は、地域商工観光

真鶴町商工会

事業は、真鶴半島駢伝大会、春季町民ソフトボーラー大会協力、春季ソフトバレーボール大会協力、秋季町民ソフトボーラー大会、秋季町民ソフトバレーボール大会、町民運動会協力と広域の開催する大会に参加しています。競技力向上だ

レクリエーション、サッカー、ソフトボール、野球部の9部が加盟し活動しています。

業者の経営支援や地域経済の活性化を図るための様々な活動を行つております。「経営改善普及事業」と「地域総合振興事業」を展開しています。「経営改善普及事業」とは、小規模企業の経営や技術の改善発達を図るための事業で、金融・税務・経営・労務・IT化などの相談や支援をするとともに、商店街等の近代化や

町の元気をサポートします！

町の予算 どんなことに 使われているの? **特集**



むらおこし事業
事業継承など地盤
ための様々な事業で
「地域総合振興」
は、地域の「総合化」
として、豊かな地
域づくりと商工觀
光業の振興のため
に取り組む事業
で、各種イベント
の開催や他団体に
対する事業協力・
講習会や研修会の
開催・青年部・女
性部の指導育成、



助金は362万円です。主な補助事業は、商工まつり、しだれ桜の宴、マナ真鶴ハワイアンの夕べなど のイベントや、漁商連携事業、商店街活性化事業、商品券発行事業、青年部・女性部育成事業、講習会・指導会等開催費、中小企業景況調査があります。

むらおこし事業、また、事業継承など地域活性化のための様々な事業です。

特集

消防団は、地域住民の生命財産を守るために、いついかなる時も災害が発生した時に現場に急行し、被害を最小限にいくとめる重大な使命が課せられています。そこで、消防団員としての知識、技術、技能の習得並びに規律と体力の練成を図ることを目的として、年間延べ30人ほどが消

出勤手当・訓練手当等
284万5千円、消防団員
等公務災害補償等共済基金
等224万9千円が主なもの
です。

第一分団ポンプ車につい
て、昭和62年に配備され23
年経過しているため今年度
900リットルの水槽付き
ポンプ車を契約金2,047
万5千円で更新します。平
成23年1月に納車されまし
た。

けでなく体力づくり、健康づくりに力点を置いて活動しています。

助成金とは、特定の事業、研究等を行う者に対し、その事業、研究等の遂行を育成・助長するために交付する金銭

補助金とは、各種の行政上の目的を持つて交付される現金的交付。

真鶴町

防学校で研
修を受けて
います。

